

平成30年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

平成30年2月13日

上場会社名 アイフル株式会社 上場取引所 東

コード番号 8515 URL http://www.aiful.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福田 吉孝

問合せ先責任者(役職名)財務部長 (氏名)三石 潤 TEL 03-4503-6050

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収	は益	営業和	—————————————————————————————————————	経常和	J益	親会社株主に帰属する四 半期純利益				
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%			
30年3月期第3四半期	75,952	11.2	4,951	0.5	5,270	0.4	6,408	25.1			
29年3月期第3四半期	68,330	4.1	4,927	30.4	5,292	27.2	5,124	29.2			

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 6,310百万円 (27.2%) 29年3月期第3四半期 4,959百万円 (29.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
30年3月期第3四半期	13.25	
29年3月期第3四半期	10.60	10.60

(2) 連結財政状態

(-) ~= MA N3 PX 17 NO			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	680,738	122,148	17.1
29年3月期	616,651	111,649	18.0

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 116,727百万円 29年3月期 110,738百万円

2. 配当の状況

			年間配当金		
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円 銭	円銭	円 銭	円銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日~平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収	益	営業和	引益	経常和	引益	親会社株主に 当期純	1株当たり当期 純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	
通期	103,700	13.4	8,800	25.6	9,100	23.0	10,000	37.4	20.67	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	484,620,136 株	29年3月期	484,619,136 株
30年3月期3Q	917,014 株	29年3月期	916,964 株
30年3月期3Q	483,702,823 株	29年3月期3Q	483,433,634 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧〈ださい。

○ 添付資料の目次

1.	当	四半期決算	に関す	ける定	性的	内情	青報	ļ	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	Ρ	2
(1)	経営成績に	関する	5説明				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	Р	2
(2)	連結業績予	想なと	どの将	来	予測	訓情	報	に	関	す	る	説	明		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	Р	2
2.	兀	半期連結財	務諸才	長及び	主な	よ 注	主記	į	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	Ρ	3
(1)	四半期連結	貸借対	対照表				•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	Ρ	3
(2)	四半期連結	損益診	†算書	及で	ゾビ	日半	期	連	結	包	括	利	益	計	算	書		•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	Р	5
(3)	四半期連結	キャッ	ッシュ	• 5	フロ	ı —	計	算	書		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	Ρ	7
(.	4)	四半期連結	財務詞	者表に	関で	する	5注	記	事	項		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	Р	8
		(継続企業	の前提	是に関	する	5 ½	主記	[]		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	Р	8
		(連結の範	囲又に	は持分	法证	窗月	月の	範	囲	0)	変	更)	•	•		•	•		•		•		•	•	•		•	•	•	•		•	•		Р	8
		(株主資本	の金客	軍に著	LV	ハダ	が動	が	あ	2	た	場	合	0	注	記)																			Р	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の政策運営や新興国経済の減速懸念、国際情勢の緊張による地政学リスクの高まりなど、不透明感が続いているものの、企業収益や雇用・所得環境の回復などにより景況感は緩やかに改善しております。

消費者金融業界におきましては、大手各社における新規成約件数は引き続き安定して推移しており、これに伴い営業貸付金残高も緩やかに増加しております。一方、業界最大の事業リスクである利息返還請求については、ピーク時からは大きく減少し、足元においては減少トレンドがより鮮明となったものの、未だ注視が必要な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、最大の経営課題である利息返還請求へ対応しつつ、 新規成約件数や営業貸付金残高などの増加によりグループ全体での収益基盤の強化を図るとともに、財務基 盤の強化に向けた資金調達の多様化やグループ全体での事業効率の向上に取り組んでおります。

(業績の概況)

当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業収益は 75,952 百万円(前年同期比 11.2%増)となりました。その主な内訳といたしましては、営業貸付金利息が 41,589 百万円(前年同期比 16.7%増)、包括信用購入あっせん収益が 11,958 百万円(前年同期比 4.3%増)、信用保証収益が 9,703 百万円(前年同期比 3.7%増)、買取債権回収高が 1,728 百万円(前年同期比 2.3%増)、償却債権取立益が 4,845 百万円(前年同期比 12.0%増)となっております。

営業費用につきましては、7,597 百万円増加の71,000 百万円(前年同期比12.0%増)となりました。その主な要因といたしましては、貸倒引当金繰入額が3,945 百万円増加の19,714 百万円(前年同期比25.0%増)となったことなどによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの営業利益は4,951 百万円(前年同期比0.5%増)、経常利益は5,270 百万円(前年同期比0.4%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として新株予約権戻入益703 百万円を計上し、非支配株主に帰属する四半期純損失682 百万円を計上した結果、6,408 百万円(前年同期比25.1%増)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありましたタイ王国で消費者金融業を営む AIRA & AIFUL Public Company Limited の重要性が増したため連結の範囲に含めており、親会社株主に帰属する四半期純利益への影響は持分の範囲になります。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の当社グループの業績予想につきましては、平成29年11月13日に公表いたしました予想から変更はありません。

なお、現状の当社を取り巻く事業環境は、様々なリスクが存在し、とりわけ利息返還請求の動向が未だ不 透明であることから、最終の業績は予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33, 644	39, 70
営業貸付金	352, 628	396, 95
割賦売掛金	94, 272	96, 87
営業投資有価証券	694	83
支払承諾見返	114, 452	122, 29
その他営業債権	5, 997	6, 28
買取債権	2, 941	2, 30
仕掛品	7, 305	10, 89
その他	12, 635	15, 48
貸倒引当金	$\triangle 42,971$	△44, 53
流動資産合計	581, 600	647, 09
固定資産		
有形固定資産	17, 664	18, 17
無形固定資産	3, 113	3, 05
投資その他の資産	14, 272	12, 41
固定資産合計	35, 050	33, 64
資産合計	616, 651	680, 73
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15, 620	19, 82
支払承諾	114, 452	122, 29
短期借入金	73, 610	80, 56
1年内償還予定の社債	2, 600	1, 30
1年内返済予定の長期借入金	32, 138	49, 30
未払法人税等	661	21
引当金	4, 213	3, 12
その他	31, 577	34, 10
流動負債合計	274, 873	310, 74
固定負債		
社債	30, 100	7, 20
長期借入金	161, 774	218, 88
利息返還損失引当金	34, 640	17, 84
その他	3, 613	3, 91
固定負債合計	230, 128	247, 84
負債合計	505, 002	558, 58

())()			_	_	\Box	
(単位	1/	•	\Box	\vdash	щ١	

		(平匹・ロカコ)
	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	143, 454	143, 454
資本剰余金	13, 953	13, 948
利益剰余金	△43, 332	△37, 758
自己株式	△3, 110	△3, 110
株主資本合計	110, 964	116, 534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△225	△20
為替換算調整勘定	<u> </u>	214
その他の包括利益累計額合計	△225	193
新株予約権	910	235
非支配株主持分	<u> </u>	5, 185
純資産合計	111, 649	122, 148
負債純資産合計	616, 651	680, 738

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間	(単位:百万円) 当第3四半期連結累計期間
	(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
営業収益		
営業貸付金利息	35, 624	41, 589
包括信用購入あっせん収益	11, 466	11, 958
個別信用購入あっせん収益	81	80
信用保証収益	9, 359	9, 703
その他の金融収益	1	8
その他の営業収益	11, 797	12, 612
営業収益合計	68, 330	75, 952
営業費用		
金融費用	5, 876	5, 758
売上原価	1, 229	1, 379
その他の営業費用	56, 297	63, 862
営業費用合計	63, 403	71,000
営業利益	4, 927	4, 951
営業外収益		
受取配当金	26	35
為替差益	_	94
不動産賃貸料	37	54
その他	418	147
営業外収益合計	482	331
営業外費用		
為替差損	99	_
その他	17	13
営業外費用合計	116	13
経常利益	5, 292	5, 270
特別利益		
新株予約権戻入益	<u> </u>	703
特別利益合計	<u> </u>	703
税金等調整前四半期純利益	5, 292	5, 973
法人税、住民税及び事業税	377	179
法人税等調整額	△209	67
法人税等合計	167	247
四半期純利益	5, 124	5, 726
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)		△682
親会社株主に帰属する四半期純利益	5, 124	6, 408

四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間

		(単位:百万円) <u></u>
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	5, 124	5, 726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△165	204
為替換算調整勘定		379
その他の包括利益合計	△165	584
四半期包括利益	4, 959	6, 310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4, 959	6, 802
非支配株主に係る四半期包括利益	<u> </u>	△491

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間	(単位:百万円) 当第3四半期連結累計期間
	(自 平成28年4月1日	(自 平成29年4月1日
営業活動によるキャッシュ・フロー	至 平成28年12月31日)	至 平成29年12月31日)
税金等調整前四半期純利益	5, 292	5, 97
減価償却費	1, 737	1, 75
貸倒引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 2,755$	$\triangle 2$
賞与引当金の増減額(△は減少)	∆449	$\triangle 42$
ポイント引当金の増減額(△は減少)	50	△42 △66
利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	△21, 834	△16, 79
受取利息及び受取配当金	△41	△8
新株予約権戻入益		△70
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△26, 397	△39, 08
割賦売掛金の増減額(△は増加)	$\triangle 4,725$	$\triangle 2,60$
その他営業債権の増減額(△は増加)	△42	∆28
買取債権の増減額(△は増加)	364	65
破産更生債権等の増減額(△は増加)	2, 044	$1, 3^2$
仕掛品の増減額(△は増加)	$\triangle 4,208$	$\triangle 3, 58$
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△733	$\triangle 2, 45$
その他の流動負債の増減額(△は減少)	13, 995	6, 0
その他	△374	$\triangle 6^2$
小計	△38, 076	 △51, 63
利息及び配当金の受取額	41	
法人税等の還付額	118	
法人税等の支払額	△137	△5!
営業活動によるキャッシュ・フロー	△38, 053	△52, 09
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,000	$\triangle 7$
無形固定資産の取得による支出	△771	△60
投資有価証券の取得による支出	△2, 175	<u></u>
その他	$\triangle 1,562$	$\triangle 1, 0$
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5, 508	$\triangle 2, 82$
対務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	664, 820	661, 33
短期借入金の返済による支出	△660, 010	$\triangle 654, 54$
長期借入れによる収入	54, 150	106, 6
長期借入金の返済による支出	△15, 205	$\triangle 32, 34$
社債の発行による収入	1, 300	7, 20
社債の償還による支出	· —	△31, 40
株式の発行による収入	52	
非支配株主からの払込みによる収入	_	2, 40
自己株式の取得による支出	_	
その他	△112	△1:
財務活動によるキャッシュ・フロー	44, 994	59, 18
見金及び現金同等物に係る換算差額	8	14
見金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1, 440	4, 40
見金及び現金同等物の期首残高	39, 906	33, 56
所規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		1, 72
見金及び現金同等物の四半期末残高	41, 346	39, 69

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したAIRA & AIFUL Public Company Limitedを連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。